

2025年12月期 第1四半期 決算説明会 質疑応答の要約

2025年5月13日(火)に開催した2025年12月期 第1四半期 決算説明会において、出席者の皆さまからいただいた質問をまとめたものです。弊社代表取締役社長 佐藤、常務取締役CFO 五十島より回答させていただきました。

なお、回答内容につきましては、文書化するにあたり、IR担当より補足加筆させていただいております。

Q1. 金融支援事業とminneの第1四半期業績は好調でしたが、通期計画に対する上振れの可能性について確認をしたく、一過性の要因はどの程度含まれていますでしょうか？また、業績が堅調に推移したなかで、通期の会社計画を据え置いた理由を教えてください。

A1. minneではコスト削減が進んでいるほか、「minne広告」や有料プランの「minnePLUS」など、GMV(流通額)に直接寄与はしませんが、利益率の高い売上が計上されたことから増益にもつながりました。また、minneについては季節性もあり第1四半期の業績が好調に推移しやすい傾向があります。年間を通じて売上が均等ではないため、現時点で上方修正を行うほどの確信は持っていません。通期計画に対する上振れの可能性はありますが、引き続き慎重な姿勢で進捗を管理していく方針です。(佐藤)

金融支援事業の第1四半期業績については一過性要因が多いです。第1四半期は債権回収が堅調に推移した結果、貸倒引当金の戻入が発生しましたが、第2四半期以降については不確実性が高い状況です。

また、買取債権に対する保険料についても、内容見直しに伴う清算により一時的な減額効果が発現しましたが、第2四半期以降には影響しない見通しです。

以上のことから、第1四半期業績は一時的要因が多いため、通期の会社計画を修正するにはまだ見極めが必要と考えています。(五十島)

Q2. 本決算でも発表いただいた中期方針の通り、2025年は投資フェーズとお話されていましたが、今後はさらに投資が拡大する予定でしょうか、また中期的に期待できる成長分野やサービスについて教えてください

A2. 今後は、法人向けプロダクトとサービスラインナップの拡充を行い単価上昇とストック型収益の拡大に向けた取り組みを強化していきます。3月にローンチしたVPNサービス「ロリポップ!固定IPアクセス」に加え、ドメイン・レンタルサーバー(ホスティング)事業では新たなサービスを2025年中に開始予定です。

これまでのようなtoC向けのマーケティングや広告投資よりは、単価の高い法人ユーザーを獲得するための直接営業や代理店開拓のためのコストが増加する見込みです。

中期的には法人向けの売上を伸ばすための投資を引き続き行い、来期以降は売上が積みあがる想定をしています。そのため、来期以降の事業成長をけん引するのは、「ロリポップ!」や「ムームードメイン」などのストック型ビジネスとなります。(佐藤)

以上